



紫匂う西府野

府中市立府中第十中学校
学校だより No.10
平成 28年 12月 22日

だんらんをとおして 団 欒 を と お し て

校長 竹内 康裕

ものごとが思うように進んだ。気になっていたことが解決した。周りの人からちやほやされたりした。そのようなときに私たちは、嬉しさのあまり有頂天になったり気を抜いてしまったりするなど、自分を見失いそうになることがあります。学生で例えるなら試験の結果が前回よりも良かったり、試合等で今までに勝てなかった相手に勝てたりした後にある失敗や停滞です。満足や喜びの周りには必ずと言ってよいほど落とし穴があります。たいていの場合はその途中の小さな失敗で気づき、或いは心ある人からの叱咤等から学ぶことによって修正できます。しかし、不幸にもその機会を逸すると、慢心したり傲慢になったりなど、自分の気持ちや態度が好ましくない方向に大きく傾いてしまいます。

一生懸命に考え工夫し妥協せずに頑張り続けたからこそ、試験で良い点がとれ、試合では勝てただけなのに、その結果や周囲からの賞賛の言葉、また高い評価だけに気持ちが舞い上がり気を抜いてしまったのでは、それまでの努力も何もあったものではありません。ひたむきな努力を積み重ねた結果なのに、そのために自分を見失い、それまで地道にそして謙虚に取り組んできたことさえも忘れてしまう。せっかくの嬉しいことが転落のきっかけにもなりかねません。このまま続けてしまうのなら、それは人生における危機とも言えます。私たちの日常にはそんな「心の落とし穴」がいくつもありそうです。

自分自身を戒め、生き方の大切な基礎となるような数々の人生訓は、所々で自分を軌道修正するとても大切なものです。これらは古くからの格言や座右の銘であったり家族や尊敬する人達から教え伝えられた言葉であったりと、人によって様々です。家族、尊敬をする人物、自分の経験や体験、書物など、様々な関わりの中で芽生え変化しながら私たちの心に創られていくのだと思います。いずれも私たちの生き方を方向付ける、心の目標とも言えます。

今年度の冬休みは実質18日間と、例年に比べて長めです。時節柄、ご家族やご親戚との団らんの機会も多くなることと思います。是非このような機会に大人の人生訓や大人の経験を基にした考え、お子様が今考えていることなどについて、のんびり・ゆっくり・やわらかく話し合う機会をもって頂けたらと思います。・・・説教・叱責から離れ、力まない・かしこまらない、気楽な・気軽な、そんな話を・・・

◎ 平成 29年 1月

1月 10日(火) 始業式

1月 11日(水) 給食開始

12月 29日(木)～1月 4日(水)

学校は閉まっています。

保護者の皆様へ

本年も本校のために皆様からたくさんのご支援を賜りましたことを深く感謝申し上げます。暖かいご家庭で生まれた生徒たちのまっすぐで優しい気持ちに包まれ、本校も新しい年を迎えようとしています。明年も凡時徹底、確実な前進の年にして参りたいと思います。引き続きよろしくお願ひ申し上げます。